

建築データ

構造規模 ■ 木造・2階建て、延床面積/167.60㎡(約50坪)
 主な外部仕上げ ■ 屋根/洋風瓦葺、外壁/窯業系サイディング、建具/玄関ドア:断熱
 ドア、窓:アルミ樹脂複合サッシ(ペアガラス)
 主な内部仕上げ ■ 床/フローリング、壁・天井/ビニールクロス
 断熱仕様 ■ (充填断熱)基礎/押出法ポリスチレンフォーム50mm、壁/硬質ウレ
 タンフォーム75mm、屋根/硬質ウレタンフォーム吹付160mm
 暖房方式 ■ ヒートポンプ式エアコン

- 県産材を使った丈夫で環境にもやさしいづくり
- 高齢者が暮らしやすい間取りとすっきり動きやすい動線
- 高断熱・高气密で省エネルギーな住まい

06



1. 広々とした玄関ホール。右手はリビング、左手はご両親の部屋と仏間の間続きの和室へと通じる
2. 居住スペースは全室南向きで日当たりの良さも抜群。来客時を考慮し、リビングとダイニングの間に仕切り扉を設けた
3. ダイニングとの間にガラス入りの格子戸を設けたキッチン。におい漏れを防ぎながらもダイニングの様子を確認することができる
4. 畳スペースを備えた2階の主寝室。左手の扉の奥にはご主人の書斎が広がる
5. トイレ、バスルーム、キッチンをつなぐ廊下は一直線で移動もスムーズ。幅も広めに設計されている
6. 採光用の窓で北側の明るさも十分
7. 2階ホールにはフレキシブルに使えるカウンターを設置
8. 白とダークブラウンの2色ですっきりとまとめられた外観



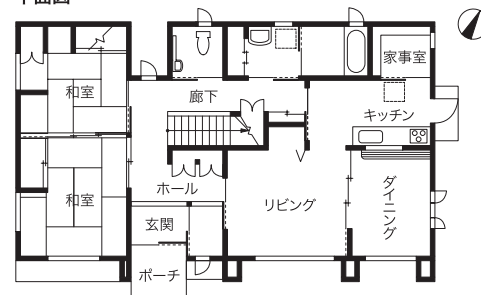
宮城の伊達な杉の家を創る会

2008年、宮城県内の地域会社により「良質な木造住宅の供給と地産地消・地域貢献」を目的として結成された「宮城の伊達な杉の家を創る会」。長期にわたって良好な状態で循環利用できる質の高い住宅を提供することで、国土交通省による長期優良住宅先導モデル事業の採択を受けています。

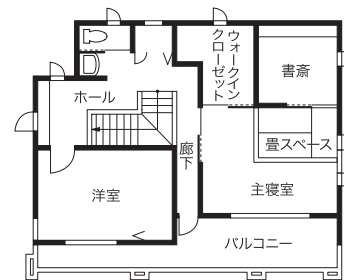
同会が推進する住宅の一番の特徴は、地域産材へのこだわりにあります。土台・柱はもとより梁材、下地材、化粧材にいたるまで、江戸時代の仙台藩領土で育った宮城の「伊達な杉」を使用。県産材の使用により「地産地消」と環境保全を図るとともに、木材を中心部まで人工乾燥させることで割れや曲がりを抑え、耐震性や断熱性、気密性を高めた省エネルギーな家を目指しています。

グループの一員である田尻工務店が手がけたこのお宅も、その趣旨にのっとった住まいです。構造材等に県産材を取り入れ、この地域の基準よりも1ランク上の耐震・断熱・気密性を実現。長期優良住宅の補助を受けることで、高性能の家を通常の坪単価で提供することを可能としました。間取りはご家族の希望により、以前の住まいをできるだけ再現したものに。高齢のご両親が暮らしやすいよう、床面をバリアフリーとし、すっきりとした動線を心がけているのもポイントです。まさに長く安心して住まえる、暮らす人にやさしい一軒となりました。

平面図



1F



2F

miyagi no datena suginoie wo tsukuru kai
 宮城の伊達な杉の家を創る会

問い合わせ先事務局
 (株)山大
<http://www.datenasugi.com>
 石巻市雲雀野町1丁目7-1
 TEL. 0225-93-1114